

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道54号 可部バイパス		事業区分	一般国道 (二次改築)	事業主体	中国地方整備局
起終点	自：広島県広島市安佐北区可部南1丁目 至：広島県広島市安佐北区大林町				延長	9.7 km
事業概要	一般国道54号は、広島市を起点とし、三次市を經由し、松江市に至る延長約180kmの主要幹線道路である。 可部バイパスは、広島市北部の慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全確保を目的とした延長9.7kmの道路である。					
S56年度事業化	S56年度都市計画決定 (H14年度変更)	S58年度用地着手	H2年度工事着手			
全体事業費	約640億円	事業進捗率	67%	供用済延長	4.2 km	
計画交通量	24,700台/日					
費用対効果 分析結果	B/C : (事業全体) 3.1 (残事業) 4.9	総費用 : (残事業)/(事業全体) 175/775 億円 (事業費 : 136/707億円) (維持管理費 : 39/68億円)	総便益 : (残事業)/(事業全体) 849/2,365 億円 (走行時間短縮便益 : 795/2,228億円) (走行費用減少便益 : 36/96億円) (交通事故減少便益 : 18/42億円)	基準年 : 平成15年		
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（現道における旅行速度の改善が見込まれる） ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している地区の騒音レベル低下が見込まれる） 他16項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	可部バイパスは、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、広島市をはじめとする関係2市6町2村の首長等で構成される国道54号改築促進期成同盟会等から早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	広島市北部地域は、急激な宅地化が進み、人口増加による通勤・通学交通の増加や広島都心部への通過交通等により、慢性的な交通混雑や交通事故が発生している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	段階的な整備を進め、現在までに4.2 kmを暫定供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	投資効果の早期発現を図るため、段階的な整備を図ってきた。残る区間については、早期全線供用を目指し、事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	・偏平なトンネル断面を採用し内空断面を縮小することにより、コスト縮減を図っている。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用などによりコスト縮減に努めている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。